

ご厚志をありがとうございました

滝田真奈美 様	秋元新太郎 様	木島弘子 様	西端哲雄 様	栗原さだ子 様	柳田恵美子 様
藤井靖子 様	天野ハル子 様	小林つぎ子 様	林毅一 様	根岸つぐ子 様	森谷邦子 様
鎌田幸江 様	飯嶋洋 様	小山清 様	深町澄江 様	山口邦夫 様	長島 徳治 様
鷲尾正和 様	板垣弘道 様	近藤佳代子 様	星野隆一 様	若杉育枝 様	加藤なか 様
木附久江 様	岩崎照男 様	佐藤義雄 様	細田等 様	秋元堅次 様	深作孝 様
中澤真希 様	堀口初男 様	吉田良子 様	小坪章水 様	中野恵子 様	横森好江 様
橋本基一 様	三輪博 様	宮田敬一郎 様	西出都 様	中村誠治 様	木附久江 様
橋本秀光 様	橋本操 様	石井義夫 様	増野和明 様	永跡照子 様	内田裕康 様
大澤充 様	鈴木武之 様	田野政雄 様	小川武夫 様	金森成子 様	武田勝善 様
大山みどり 様	高橋明子 様	長澤和子 様	あいおいニッセイ同和損保 様		
NPO法人 彩花 様	カイゴテック 様	太陽設計 様	東毛給食センター 様	足利ガス 様	
茄子のとも 様	菊屋 様	東京福祉大学 様	環境工学研究所 様	ホシザキ北関東 様	
ヒグチ電機 様	荒川青果 様	西武リース 様	武蔵野短期大学 様	㈱ニックス 様	
㈱ケージーエム 様	岡村自動車 様	松本自動車 様	熊谷観光 様		
埼玉森林病院 様		ケア・クロスくつろぎ 様	ヒューマンネット 様		
ヘアーサロン サポート 様		光の家療育センター 様			

迎春 むさしの

社会福祉法人 むさしの郷

〒360-0125 埼玉県熊谷市上恩田 514-2

TEL048-598-7007

【mail】honbu@musasinogou.com

【web】http://www.musasinogou.com



新年明けましておめでとうございます。

平成30年を閉じ令和の元旦を迎えました。

これから皆様にとって、むさしの郷にとって良き時代

となるよう職員一同頑張って参りますので本年もどうぞ宜し

くお願い申し上げます。

「心の 蹟」

～ 理事長 山下 達也 ～

遠い昔の中学時代の話になりますが、卒業を控えた3年生と在校生が交流するサッカー大会が行われた時のことです。前半後半で同点、PK戦で結果2年生クラスの私が蹴った得点で勝利したのですが、喜びも束の間に数十年した今になっても頭に残る先生からのアドバイスを受けました。

怒られた訳ではないのですが、試合直後「あそこで、外して3年生に花を持たせない」という言葉に、先生にとっては思わしくない結果だったのだとは伝わりましたが、未熟な中2の私には、卒業生に花を持たせるという配慮の意味が分からなくはななくとも、夢中に頑張って勝利したことが良くなかったのかと疑問になり整理のつかない憤りだけが残ったことを覚えています。もちろん誰が悪くもなく問題は起こっていませんから息詰まるような出来事でもなく、足で踏んでも気づかない僅かな起伏に心が躍いたぐらいのことではあります、何故か思い出すことが多いのです。

そして、いつしか自分が先生の年齢を超え、時に同じよう

な立場を経験するようになり、先に書いた憤りも、今では単純な不満であったと、その至らなさに恥ずかしさを感じるようにもなりました。

自分で考え選択した行動の結果が良かったのか悪かったのか見えなかったのなら、言い訳や後悔ぐらいでできたのでしょうか、唯々夢中で思慮も配慮も頭になく何の準備もできていないところに指摘を受けたので、とっさに先生に怒りの感情を持つというダメな正当化行為をしたのでしょうか。人は自分を守り、また至らなさを悟られぬように、虚勢を張ったり、嘘をついたり、分かった振りをしてしまうものですが、結局は相手を誤魔化すことなどできるものでもありません。難しいことですが、謙虚な対応が一番です。素直で正直であれば、問題が起きてもスムーズに解決に向かうものです。ですが、素直に受け止められず、すぐに躰いてしまった私の偏屈な表情から処理しきれない心情を察し、考える経験を与えるはずのアドバイスをしてくれた先生をも悩ませてしまったかもしれません。

人に真意を伝えることも他者の道理を受け入れることも簡単ではありませんが、苦いまずい咀嚼して自分の栄養にできる相応の寛容さを持ちたいものです。

「思いは様々」 (けやき寮 部長 小川 英)

先日、新聞を読んでいると『仕事付き、老人ホーム生きがい応援』という題名に目が止まった。記事を読み進めると、歴史ある老人ホームのようだが新たな取り組みとして入居者に「仕事」の提供を始めたことあり、希望者のみが参加して時間も自由の様子。2施設ほど紹介されていたのでお話ししたいと思います。

一つ目の施設は人形やアクセサリを作り30分から1時間ほど作業をすると毎回500円相当のポイントがもらえて施設内の買い物代行サービスなどで使えるそうです。作業を

社会福祉法人 むさしの郷 事業所一覧 <http://www.musasinogou.com>

むさしの郷

検索

□ 障がい者支援施設 ながい寮・法人本部 〒360-0125 埼玉県熊谷市上恩田514-2
TEL 048-598-7007
FAX 048-598-7008
E-mail honbu@musasinogou.com

【施設入所支援 生活介護 ショートステイ】

□ 障がい者支援施設 むさしの青年寮 〒355-0008 埼玉県東松山市大谷4730
TEL 0493-39-1895
FAX 0493-39-1380
E-mail seinen@musasinogou.com

【施設入所支援 生活介護 ショートステイ 日中一時支援】

□ 障がい福祉サービス事業所 けやき寮 〒360-0211 埼玉県熊谷市善ヶ島3310-1
TEL 048-588-1358
FAX 048-588-8830
E-mail keyaki@musasinogou.com

【就労継続支援B型】

□ 共同生活援助事業 未来ホーム（グループホーム） 〒360-0203 埼玉県熊谷市弥藤吾578-18

【東方ホーム、福嶋ホーム、コスモスホーム、未来ホーム、一路ホーム】

している人の中には91歳で脳梗塞を患い左手が不自由な方がいて「普段は部屋で過ごすことが多いが皆さんと一緒に仕事ができることは楽しい」とあった。

もう一つの施設では農業を軸にした仕事で、ビニールハウス内の作業場は腰を曲げずに作業が出来るようになっており（写真が載っていたがいちご狩りでよく見かける立ったまま採れるようになっているのと同じような形）最高齢の参加者は99歳で車椅子でも移動しやすいように地面にはゴムマットを敷く工夫がされているようであった。職員さんのコメントも「仕事をする、対価がでるということはこちらが思っている以上にうれしく、大事な部分があると気付かされた」と載っていた。

最後の締めくくりに、『思いは様々』という中題があり、二つの例のように好意的に捉える入居者や家族の方も多くいるが、労働のイメージが強く否定的に捉える方もいて参加希望の無かった施設もあったとの事だった。

現在、私は就労継続支援 B 型のけやき寮に勤めており、通ってくる利用者さんの思いも様々であるだろうと思うと共に、新年を迎えるにあたり改めて本人や家族の希望、課題、ニーズを把握していきながら一人ひとりに良いと感じられる施設にしていければと思います。



<ボウリング・カラオケ> けやき寮

けやき寮恒例のボウリング・カラオケ行事は、4班のグループに分かれて行ってきました。まずどちらに参加するか皆さんに希望を聞いて班を編成。昼食は事前にいくつか用意した場所からそれぞれの班に選んでいただきました。

カラオケ班では皆さん十八番をフルコーラスで熱唱、点数表示に一喜一憂していました。

今回から会場を変えたボウリング班では、最新設備や真新しい雰囲気とスタッフさんの快い対応の影響かスコア

も上々の様子です。

とんとらラーメンでは手を滑らせご飯茶碗を割ってしまうトラブルがありましたが、店員さんの暖かい対応で事なきを得られました。

今回、利用者さん達の多くの笑顔が見る事が出来たのも昼食会場をはじめ、各店舗の様々な方のご協力を頂いたお陰です。事前予約から様々なご配慮を頂いたカラオケバンバンさん、ドリームスタジアム太田さん、御対応ありがとうございました。（牧野）



『 4 年を振り返って 』

（ながい寮 支援員 原 潤平）

同窓会や結婚式に出席すると、友人との会話の中で仕事の話をよくするようになりました。各々役職に着いたり、現場で頑張っていたりと様々です。そして必ず言われるのが、私が福祉施設で働いている事を伝えたと「大変そう」「辛いなの？」などよく言われる一方「すごいね」や「えらい」なども同時に言われます。そんな他愛もない会話の中で、褒められたり、心配されたりしており入社したての時は自分自身もやはり大変だな、という気持ちになっていました。

むさしの郷に入社して 4 年。きっかけですが、前職はサービス業で働いており、残業も多く休みも少なくて自分の時間がほぼありませんでした。帰ったらただ寝るだけ、休みの日も寝ている、そんな日々を過ごしていました。そんな日々に限界を感じて、次の仕事は絶対にプライベートな時間を大事にしたいと考えていました。また、私の父が福祉の仕事に就いている関係で、小さい頃に何度か施設を見学しに行き、少し興味を持っていた為「この機会に福祉業界に転職してみよう」。そんな理由でむさしの郷に面接に行きました。面接では前職の話やプライベートを充実させたいという自分本位な希望もしっかりと聞いていただき、施設見学の際、全体に明る

さや温かさを感じ、この施設なら働ける、働きたい、という気持ちになりました。そして無事採用して頂きました。

しかし一年目は驚きや戸惑いの連続で、一人一人の利用者さんに対しての接し方や介助など体力的にも大変だし、私たち支援員の何気ないミスが利用者さんの命を奪ってしまうかもしれないという精神的にもきつく本当に福祉業界は大変だな、と毎日思っていました。

半年たつと業務にも慣れてきて、ようやく利用者さんに何をしてあげよう？どんなことをしたら喜ぶかな？と考える余裕ができるようになりました。そして利用者さんが喜ぶ顔や笑顔を見てみると「やってよかった」という達成感も味わうことができ、仕事のやりがいもどんどん上がってきました。2 年目、3 年目と利用者さんが何をしたら喜ぶのか、何を求めているのか、そんなことを日々考えながら毎日の仕事に励んでいました。そんな毎日が楽しく、とても充実した毎日を過ごしました。

そして今年度ですが、初めての夏祭り担当となり、他の職員と一緒にどんなことをしたら利用者さんに夏祭りの雰囲気を作り出してもらえるか意見を出し合い、今年は初となる食堂で出店を出す事にして、お祭りの雰囲気をより感じてもらえるよう企画しました。

夏祭り担当の私は食堂のレイアウトを任されました。真ん中には大きなスクリーンを置き花火大会の映像を映し、より夏祭りの雰囲気を演出す工夫もしました。私はその映像を見ながら料理を食べている利用者さんの様子を考えながら椅子の配置、出店の配置を考えました。夏祭り当日、上手くいくか不安もありましたが、料理を食べながら楽しそうに花火の映像を見ていただけました。初の夏祭り担当をして準備期間はとても大変だったのですが終わってみると達成感、充実感があり夏祭りに携われてよかった、と思いました。そんなところにも福祉の仕事の楽しみを見出すことが出来ました。

初めに戻りますが、同窓会などに参加すると、いつもの様に友人から「大変でしょ？」という言葉が言われますが、この 4 年間で考えが変わり、大変なことも確かにありますが、利用者さんがどんなことをしたら喜んでくれるか考える楽しさや、全体行事でのやりがいや達成感を感じることができると「福祉の仕事は大変ではないよ」と友人に言えるようになりました。



～晴天の一日～ むさしの青年寮

「どこまで行くの？」、「何を食べるの？」、「いよいよ来週だね」。旅行が近づくにつれ、利用者さんの楽しみな様子が自然と伝わってきます。

2019 年 9 月 17 日、みのりファミリー旅行。まずは「トレジャーストーンパーク」で宝石探し。皆さん各々で水の中から、輝きを放つパワーストーンを夢になって探し集めていました。次に今回のメイン会場、「那須りんどう湖レイクビュー」でバーベキューをしながらの昼食。そのあとはバター作り体験。小さな入れ物を長い時間「振る」という作業に「腕が疲れちゃった！」と言う方もいましたが、自分で作ったバターを上手にパンに塗って、とても美味しそうに食べていました。園内を散策し、ヤギや牛、他にアルパカという珍しい動物とふれ合ったり、園内の池を走る水上バスに乗ったり、メリーゴーランドに乗ったりと、少し時間が足りなくなってしまうくらいイベントが盛り沢山でした。

その後はサービスエリアで夕食を取り、青年寮に帰寮。昼食と続けて夕食をすることは中々無い機会だと思うので、皆さん満足してもらえたかな。

「楽しかったよ」、「また行こうね」という声の他に、「来年は〇〇に行きたいな」、「これも食べたいな」と、早速来年の旅行の案が出始めています。（宮本）

